

平成 28 年度 事業報告書

I. 事業状況

当財団の設立目的である日本及びドイツの社会の持続的な発展を目指し、学術・文化の分野において事業活動を行い、ドイツとの交流を深めた。

以下に事業活動の概要を報告する。

1. 事業活動の概要

(1) 「山岡記念財団 音楽交流事業」

- 1) 開催日時： 平成 28 年 12 月 10 日 (土)
午前の部 11:00~12:15 午後の部 14:00~15:15
- 2) 場 所： ヤンマーミュージアム
- 3) テーマ： ヴァイオリンとピアノ「デュオのひとつ」
～親子で楽しむドイツ音楽～
- 4) 演奏者： ヴァイオリニスト－会田莉凡氏、
ピアニスト－須関裕子氏
- 5) 演奏曲： 「愛のあいさつ」－ エルガー
「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第 2 番ニ短調より
シャコンヌ」－ J. S. バッハ
「ヴァイオリン・ソナタ変ホ長調より第 1 楽章」
－ リヒャルト・シュトラウス
「ノクターン嬰ハ短調 英雄ポロネーズ変イ長調」
－ ショパン
「愛の喜び 愛の悲しみ 美しきロスマリン」
－ クライスラー
- 6) 参加者： 228 名
- 7) 後 援： ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
長浜市、長浜市教育委員会、ヤンマー株式会社
- 8) 実施内容： 小中学生及びその保護者及び一般市民が参加し、午前と
午後の 2 回に分けて開催された。ヴァイオリン奏者の会田
莉凡氏、ピアノ奏者の須関裕子氏によるドイツ音楽の演奏
と、諮問委員であり音楽評論家の奥田佳道氏による解説が
行われた。

(2) 「山岡記念財団 科学技術講演会事業」

- 1) 開催日時： 平成 29 年 3 月 21 日 13:00~15:00

- 2) 場 所 : 京都大学国際科学イノベーション棟
 3) テーマ : 持続的な社会を目指すために～日本とドイツ
 ～エネルギーの有効活用～
 4) 講演者 : ホルスト・シュルテ氏
 (アーヘン工科大学教授)
 手塚 哲央氏
 (京都大学大学院エネルギー科学研究科教授)
 5) 参加者 : 131名
 6) 後 援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
 一般社団法人 大阪日独協会、ヤンマー株式会社
 協 賛 : 京都大学 大学院エネルギー科学研究科
 7) 実施内容: ドイツアーヘン工科大学のホルスト・シュルテ教授と京都
 大学の手塚教授により、現在、地球規模で問題になっている
 「温暖化現象」「エネルギー」問題に対して、国際社会の安定
 的な繁栄をどのようにすれば得ることができるのかを資源
 循環型社会の形成に向けて論じられた。

(3) 「山岡記念財団 日独の若者文化・ライフスタイルの研究事業」

— 若者文化シンポジウム —

- 1) 開催日時: 平成 29 年 3 月 21 日 15:30～18:00
 2) 場 所 : 京都大学国際科学イノベーション棟
 3) テーマ : ドイツにおける日本のサブカルチャー
 4) 講演者 : ベルント・ドレ＝ヴァインカウフ氏
 (フランクフルト大学教授)
 酒井 洋一氏
 (フランクフルト大学学生)
 北田 暁大氏
 (東京大学大学院 情報学環・学際情報学府教授)
 5) 参加者 : 103名
 6) 後 援 : ドイツ連邦共和国総領事館、大阪ドイツ文化センター、
 一般社団法人 大阪日独協会、ヤンマー株式会社
 共 催 : 京都大学 人間・環境学研究科 学際教育研究部
 7) 実施内容: ヴァインカウフ教授は「マンガの魅力—現代若者文化現象の
 足跡探し」、酒井洋一氏は「ドイツにコミケはあるのか?」、
 北田教授は「文化グローバリゼーションの2つのかたち—
 Yaoi は国境と家父長制を超えるか?」をテーマにドイツに

おける日本のサブカルチャーの受容の実態を講演し、その後、諮問委員である田野教授の司会で討論会が行われた。

2. その他活動

(1) 賛助会員の募集

ヤンマー株式会社のサプライヤー、金融機関、建設・設備関係を中心とした法人及び個人から賛助会員を募った。

(2) ホームページへの掲載

1月20日に開設されたホームページに山岡記念財団の活動について掲載した。

以 上